

7月13日(日)・16日(水)

College of the Air



ゲスト紹介

Thomas J. Nevins

1950年ニューヨーク州生まれ。コーネル大学卒業、国務省、労働省などに勤務の後1970年来日。以来日本の労働問題の研究に取り組む。1978年テクニクス・イン・マネジメント・トランスファー(TMT)社を設立し代表取締役。著書に“Labor Pains and the Gaijin Boss”など。

Japanese and Multinationals —A New Trend in the Labor Market

日本の人事慣行や労使関係は戦後のわが国の経済的成功の大きな要因としてしばしば海外の大きな関心を集めてきた。外国の人と日本の経済や経営について語る時には必ずといっていい程この話題がでてくる。日本のビジネスマンにとっては、いつもその環境の中で働いているわけだからよく知っているはずだが、いざ他人に説明するとなると難しい。そのためには、事実を客観的に分析して知識としてまとめ、ある程度の歴史的・社会的背景を含め、外国との主な相違点をふまえて表明する必要がある。そこで今回は、このもっともしばしば取り上げられる話題についての対話を実演してみることにした。

ゲストは Technics in Management Transfer (TMT) Inc. という会社の創設者であり社長である Thomas J. Nevins さんだ。TMT 社の英文 brochure を開いてみると、“the needed blend of labor consulting and executive recruiting” とある。すなわち人事・労務関係のコンサルティングと管理職の人材紹介を主な業務とする会社だ。ネビンスさんはコーネル大学で労使関係を専攻され、来日後も日本労働協会などで研究を続けた後この会社を設立された労使関係の専門家である。そしてご自身自己紹介で話しているように理論や分析だけでなく会社の業務に適用して事業を行う実践家でもある——“it goes much beyond a theory and analysis practice, but a lot is based on practical

TV NHKテレビ

英語会話II

巻末:「イングリッシュ・アワー」(ラジオ第2)ガイド

1986

7月

■小松達也 ■杉浦章介

教育テレビ(日)午前7:00~7:30/再放送(水)午後11:30~12:00



College of the Air

Children's World : Then and Now
Japan and Multinationals
Culture as a Text in Context
Seeking Our Own Identity